
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 162 号(2026.9.1)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 162 号をお届けします。

-----**第 162 号の目次**-----

1 活動組織の活動紹介

こ さ な ☆五佐奈区地域資源保存会（た き三重県多気郡多気町）☆
住民直営でパイプラインを整備し、維持管理の負担軽減とコスト削減を実現しました！多世代で用水路の植栽を行っています！

そう ろ か み ☆宗呂上農地保全組合（と さ し み す高知県土佐清水市）☆
コスモスを植栽し景観づくりと住民交流を促進するとともに、草刈りや水路の泥上げを行っています！

2 女性役員へのインタビュー

かな が せ ☆金ヶ瀬地区環境保全隊（おお が わ ら宮城県大河原町）☆
情報共有や作業時間の工夫により、多様な参加者が無理なく関われる体制を整えています！

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

や ち なん ぶ ☆谷地南部地区活動組織（か ぼ く ち ょ う山形県河北町）☆
交付金の使途を可視化し透明性を高めるとともに、写真を中心に毎号同じレイアウトで作成をすることで、読みやすさと編集効率の向上を図っています！

【お知らせ】

☆農村地域における「アメリカザリガニ防除の手引」の御紹介

【編集後記】

■活動組織の活動紹介（1）

ごさな ～五佐奈区地域資源保存会（三重県多気郡多気町）～

～地区概要～

多気町は三重県のほぼ中央に位置する人口1万3千人の小さな農山村です。たくさんの食べ物が採れる場所という町名の由来のとおり、「松阪牛」のほか、300年の歴史を有する「伊勢いも」、本町発祥の「前川次郎柿」など、多くの農産物が生産されています。

五佐奈区地域資源保存会は、地区内の田44ha、畑1.5ha、水路12.2km、農道1.5km、ため池1か所で活動しています。



～主な取組～

- ◎ 農業用水の効率的な供給と維持管理の軽減を目指し、地域の技術を持つ人材を中心にパイプラインの敷設工事を住民による直営施工で行いました。用水路の清掃作業が不要になったことで集落作業の負担を軽減することができました。

工事費の抑制を図ると同時に、住民が自ら水利施設を整備することで、施設に対する愛着と保全意識の向上につなげています。また、課題を地域の力で解決する姿勢が模範的な活動であると評価され、「多面的機能の維持・発揮活動 第16回みえのつどい」において、施設部門の優秀活動表彰を頂きました。

- ◎ 地域の子どもたちに農業や自然環境への関心を高めてもらうため、地元の小学生と老人クラブが連携し、農業用水路への植栽活動を実施しています。花苗の植え付け作業を共同で行うことで、多世代交流の場を創出するとともに、美しい景観づくりを通じた地域愛の醸成を図っています。



用水路のパイプライン化



小学生との共同作業による
景観形成活動

- ◎ 五佐奈区地域資源保存会では、今後も多面的機能支払交付金を有効活用し、ハード面の整備と住民同士のつながりづくりを両輪で進めていきます。地域資源を守り続けるとともに、次世代が農業や農村に誇りを持てるような活力ある地域づくりを目指してまいります。

【五佐奈区地域資源保存会 書記 湊 稔】

編集担当 SDGs コメント

住民が直営施工でパイプラインの敷設を行い、用水路の清掃作業が不要になったことで集落作業の負担を軽減することができたことは、目標2「持続可能な農業生産を支える。」に貢献しています。また、地元の小学生と老人クラブが連携し、農業用水路への植栽活動を実施していることは、目標4「地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する。」に貢献しています。さらに、花苗の植え付け作業を共同で行うことで、多世代交流の場を創出することは、目標11「住み続けられる地域をつくる。」に貢献しています。

今後もこのような活動を通じ、地域のよりよい農業環境が維持されることを応援しています。



■ 1 活動組織の活動紹介（2）

とうろがみ とさしみず
～宗呂上農地保全組合（高知県土佐清水市）～■

～ 地区概要 ～

本地区は高知県西南部土佐清水市宗呂川^{とさしみず そろがわ}周辺の山間地に位置し、地形を活かした農業が特徴です。

一方で、中山間地ならではの担い手不足や、農地・水路・農道の維持管理の負担が課題となりつつあります。

このような地域で活動する本組織は、農用地を活用した景観形成活動を行うことを目的としており、農村環境保全管理や啓発・普及活動も併せて行っています。

活動範囲は、田 22.6ha、畑 0.4ha、農道 4.3km、水路 12.1km に及び、農業者だけでなく非農業者の皆さんにもご協力いただきながら、地域ぐるみで保全管理を進めています。

～ 主な取組 ～

- ◎ 毎年、景観形成活動として、稲刈り後の農地にコスモスの種まきを行っています。秋には、見晴らしのよい田んぼの景色に花の彩りが加わり、季節の移ろいを感じられます。開花時期には植栽地にて地域住民の交流が行われています。

また、農地の保全・管理に欠かせない草刈りや水路の泥上げ、農道の点検・整備についても、共同作業として計画的に実施し、通水の確保や安全な通行環境の維持に努めています。

- ◎ 今後も自然豊かなこの地域を次世代へつ



コスモス畑の様子



コスモスの種まきの様子



草刈りの様子



水路の泥上げ作業の様子

なぐため、より一層、人と人の繋がりを深めながら、共同活動の継続に向け取組を行っていきたいと思っています。

【宗呂上農地保全組合】

編集担当者 SDGs コメント

水路の泥上げや草刈り、農道の点検・整備は、目標2「持続可能な農業生産を支える」に貢献しています。

また、農用地を活用した景観形成活動に非農業者の皆さんも協力して、共同活動を行っています。これは目標11「住み続けられる地域をつくる」に貢献しています。

今後もこのような活動を通じ、地域のよりよい農村環境が維持されることを応援しています。



■ 2 女性役員へのインタビュー

かながせ
～金ヶ瀬地区環境保全隊（宮城県大河原町）～

組織の概要

本地区は、多面的機能支払交付金を活用して、環境資源保全と地域活動の創造に取り組み、地区の絆・景観形成づくりの実現を目指しています。

（R7 時点）

活動範囲：田 87.49ha、畑 5.06ha

対象施設：水路 8.3km 農道 7.1km

活動開始時期：令和7年4月



代表の角田真由美さん

～インタビュー～

○話し手：金ヶ瀬地区環境保全隊

代表 角田 真由美さん

○聞き手：宮城県農政部農山漁村なりわい課鈴木

○実施日時：令和8年4月28日

○実施場所：農事組合法人かながせ事務所



活動に関する話し合いの様子

Q：役員に女性が就いたきっかけを教えてください。

A：保全隊設立に向けた話し合いを、本地区内の農事組合法人が中心となって行っていたことから、法人の代表をしていた私が保全隊の代表になりました。性別によるものではありません。

Q：役員を引き受ける際に抵抗はありませんでしたか？

A：農業に限らず、何事においても性別によってできる・できないと区別したことはありません。地区内のメンバーや法人の仲間から協力を得られているため、役員を引き受けることに抵抗はありませんでした。



共同作業（農道補修）の様子

Q：組織を運営する中で苦労したことを教えてください。

A：事務の進め方が独特なため、事務担当には苦労をかけていますが、グループ LINE を作成し、保全隊の作業や会議に関する連絡を迅速に行うなど工夫しています。その結果、苦労よりもむしろ楽しみながら運営しています。

Q：役員として心がけている事を教えてください。

A：役員会で話し合った内容を、実際に作業を行う実動部隊にもグループ LINE で伝達し、一人でも多くの方が参加できるよう心がけています。

Q：特に力を入れて取り組んでいる活動内容はありますか？

A：作業開始時間を早朝にすることで、夏場は涼しい時間帯に作業を終えられるようにしています。また、仕事を持っている構成員も出勤前に保全隊の作業に参加してもらえるように工夫しています。

Q：活動を行ってよかったことを教えてください。

A：年配の方々から若手まで幅広く参加してくれているので、分からないことや知りたいことを気軽に相談できたり、情報交換ができていたりする点です。また、活動を通じて地域がきれいになったことも良かったと感じています。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：高齢化や後継者不足を地域連携で補い、重機を活用できる場所では積極的に使用し、体に負担が少ない作業（活動）を進めていきたいと考えています。

【宮城県農政部農山漁村なりわい課 鈴木】

編集担当 SDGs コメント

活動組織の役員に女性の方が参加することは、目標5「女性の参画により地域や活動組織の取組の可能性を広げる」に貢献しています。さらに、年配者から若手まで幅広い世代が参加し、情報交換や相談が自然に行われている点は、地域内のつながりを強めるものであり、目標11「住み続けられるまちづくりを」及び目標17「地域共同の力により目標を達成する」に貢献しています。

これからも、多面的機能支払交付金を有効活用していただき、金ヶ瀬地区の農業農村が活性化していくよう応援しています！



■ 3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

や ち な ん ぶ か ほ く ち ょ う
～谷地南部地区活動組織（山形県河北町）～■

広報誌の概要

- 本組織の広報誌は、平成 19 年の活動組織設立当初から、毎年 3 月に発行しています。
- 広報誌には、農地維持活動や共同活動、施設の長寿命化の活動、多面的機能支払交付金の交付額を掲載しています。900 部を作成し、全戸配布するとともに、自治会や土地改良区、JA などにも配布することで、広く活動内容の周知を図っています。

～工夫しているポイント～

ポイント1 写真を主役にする

活動の様子がひと目で伝わるよう、写真を中心とした紙面づくりを心がけています。文章はできるだけ簡潔にまとめ、写真に短い説明を添えることで、読みやすく分かりやすい広報誌となるよう工夫しています。

ポイント2 活動内容の見える化

多面的機能支払交付金の交付額を掲載するとともに、その交付金がどのような活動に活用されているのかが具体的に分かるよう工夫しています。

一部の活動だけを取り上げるのではなく、農地維持活動・共同活動・長寿命化活動それぞれについて、交付金を活用した取組の写真を中心に紹介しています。

これにより、交付金の使途を分かりやすく示し、活動の透明性を高めるとともに、地域住民の理解と信頼の向上につなげています。

ポイント3 毎号同じレイアウトで作成する

広報誌は、多面的機能支払交付金の広報誌であることが一目で分かるよう、毎号同じレイアウト・構成で作成しています。見出しや掲載項目の順序を統一することで、読者が内容を把握しやすく、必要な情報を探しやすくしています。

また、型を統一することで、写真や原稿を当てはめるだけで編集できるため、作成作業の効率化にもつながっています。

インタビューさせて頂いた
谷地南部地区活動組織
(左)会長：仲野英秋さん
(右)会計：原田雅和さん



ポイント1 写真を主役にする

活動の様子がひと目で伝わるよう、写真を中心とした紙面づくりを心がけています！

第15号 令和8年3月

農地・水谷地南部活動通信

本地域は、水資源に恵まれ、農業生産等を通じ、国土の保全、水源のかん養、良好な景観形成等の多面的機能を発揮しております。しかしながら、担い手の高齢化や減少等により、多面的機能の低下が懸念されております。農地・水保全管理谷地南部地区活動組織会では、多面的機能を発揮し、農業の振興を図るため、下記の諸活動に取り組んでおります。

農地維持支払活動

(点検・計画策定、農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持などの実践活動、交付金額：3,041千円)



点検・機能診断



堰払い（泥上げ）



堰払い（草刈）



農道の補修

資源向上支払活動（共同）

(農業施設の軽微な補修、農村環境保全活動、交付金額：1,774千円)



ペコニア植栽



防草シート工事（下野地区）



水路目地補修

同上（施設の長寿命化）

(水路、農道などの長寿命化活動、交付金額：1,000千円)



ダブル水路間土砂溝畔のコンクリート張り（砂田地区）

（水田89ha、畑42ha、水路27km（排水路11km）、農道7km、12町内会、9農事実行組合）
会長：仲野英秋（高北）、副会長：秋場周輔（荒中）・布川峯夫（要害）、会計：原田雅和（荒南）、書記：吉田正芳（高中）・吉田重夫（かすみ町）、監査役：佐藤明彦（旭町）・押野良吉（荒西）

ポイント2 活動内容の見える化

交付額を掲載するとともに、その交付金がどのような活動に活用されているのかが具体的に分かるよう工夫しています！

ポイント3 毎号同じレイアウトで作成する

広報誌は、多面的機能支払交付金の広報誌であることが一目で分かるよう、毎号同じレイアウト・構成で作成しています！

第14号 令和7年3月

農地・水谷地南部活動通信

本地域は、水資源に恵まれ、農業生産等を通じ、国土の保全、水源のかん養、良好な景観形成等の多面的機能を発揮しております。しかしながら、担い手の高齢化や減少等により、多面的機能の低下が懸念されております。農地・水保全管理谷地南部地区活動組織会では、多面的機能を発揮し、農業の振興を図るため、下記の諸活動に取り組んでおります。

農地維持支払活動

(点検・計画策定、農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持などの実践活動、交付金額：3,041千円)



点検・機能診断



堰払い（泥上げ）



水路の草刈り



農道の除雪

資源向上支払活動（共同）

(農業施設の軽微な補修、農村環境保全活動、交付金額：1,774千円)



防草シート工事（月山堂・砂田地区）



桜枝落とし

同上（施設の長寿命化）

(水路、農道などの長寿命化活動、交付金額：1,000千円)



ダブル水路間土砂溝畔のコンクリート張り（月山堂・砂田地区）

(水田89ha、畑42ha、水路27km、農道7km、12町内会、9農事実行組合)
会長：仲野英秋（高北）、副会長：秋場周輔（荒中）・布川峯夫（要害）、会計：原田雅和（荒南）、書記：吉田正芳（高中）・吉田重夫（かすみ町）
監査役：佐藤明彦（旭町）・押野良吉（荒西）

■【お知らせ】「農村地域におけるアメリカザリガニ防除の手引」の御紹介■

近年、農村地域においては、アメリカザリガニの食害により、ため池等における多様な生態系が失われる事例が報告されています。

また、アメリカザリガニの巣穴を掘る習性により、水田の畦畔からの漏水やため池堤体法面の崩落といった被害も発生しています。

このため、農林水産省では、令和5年度から7年度までの実証調査結果等を基に、効率的・効果的なアメリカザリガニの駆除手法や駆除効果の評価方法等を取りまとめ、農業関係者が駆除活動に取り組む際に活用できる手引を令和8年3月に作成・公表しました。

農業水利施設や生態系への影響を最小限に抑えるためには、地域での情報共有と連携が重要です。

また、アメリカザリガニ等の外来種の駆除活動には、多面的機能支払交付金の資源向上支払交付金を活用することが可能です。

日頃より皆様が取り組まれている共同活動の一環として、是非本手引を御活用ください。



アメリカザリガニ



巣穴による「ため池堤体の損壊」



カゴ網による捕獲

○ 農村地域におけるアメリカザリガニ防除の手引（農林水産省 HP）

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/nouson_amezari.html



○ 手引の要約版（パンフレット）

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/attach/pdf/nouson_amezari-27.pdf



【農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課農村環境対策室】

■ 編集後記 ■

読者の皆様、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。私は先月、山梨県へ旅行に行ってきました。大自然の中で過ごす時間はとても心地よく、心が癒されました。夜には流れ星を見ることができました！突然で驚き、願い事をする間もなく消えてしまいました。

いつもメールマガジンを読んでいただきありがとうございます。次回の投稿もお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからでもご覧いただけます



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300 字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：小松原、内田）

TEL：03-3502-8111（内線 85499）